修学旅行新聞

発行所　財団法人
全国修学旅行研究協会
発行人　白滝末紀
東京都千代田区西神田
1丁目3番地(幅ビル)
電話 (262) 2426・2932
振替 (東京) 36337

修学旅行は学習を社会に移したもので、生活指導及び集団訓練の好機会であり、教育計画の一環として行なう学校教育上極めて重要な行事である。
従って修学旅行を安全かつ有効に実施するための企画及び運営を科学的に調査研究して、常にその改善に努力しつつ教育効果の充実向上を図る事は必要であり教育界に課せられた義務でもある。(財団法人・全国修学旅行研究協会の趣意書から)

修学旅行の実態　東京都豊島区の中学校

<1>

二条城見学は圧倒的

新コースの開拓　努力の跡みえる

この秋ひらかれる文部省主催の教育課程研究発表大会では学校行事等の教育活動のうち〝修学旅行〟が大きなテーマとしてとりあげられることになり、すでに各都道府県をはじめ各市町村でも研究機関や学校がその成果をまとめつつある。東京都中学校学校行事等研究会(会長＝台東区立上野中学校長・幸田勝氏)でも修旅の実態調査を行なった。豊島区内の中学十三校を対象に修旅の計画から事後指導まで九項目にわたる具体的な調査で、好資料として全国から注目されよう。調査は豊島区立駒込中学校の藤田豊教諭が中心となって行なわれた。

修学旅行を立案計画する機関は①学年会が一二校の学年の修旅委一校で学年会が圧倒的。学校全体の修旅委で立案計画しているところがない。これでは学校行事等の一つとしての修学旅行が他行事との関連上、真に効果的な運営ができるかどうかあやぶまれると指摘している。

立案計画の時期としては①六カ月前ごろから七校②三か月前ごろ三校③二か月前ごろから二校④一年前ごろから一校で、半年前から準備するところが約半数以上になっている。①のうちには宿舎だけは一年半前から交渉している学校が一校、②には基本的準備を二年前から進めているところが一校あった。まとめとしてはこの数字は具体的に着手している時期であって、どこの学校でも宿舎については一年前＝一年半前から決めているものとみており、また、社会科などでは相当以前からそれに合わせた授業を意識して展開していると推定している。

修学旅行のおもな見学場所の調査ではつぎのような結果が出ている。先ず京都では①二条城(一三校)②金閣寺(一一校)③平安神宮(一一校)④清水寺(一〇校)⑤嵐山(九校)⑥三十三間堂(九校)⑦銀閣寺(七校)⑧東山ドライブ(六校)⑨西芳寺(五校)⑩石山寺(四校)⑪東本願寺(二校)⑫新京極、西陣会館、びわ湖大橋、雲山観音(各一校)

また奈良では①奈良公園一帯＝東大寺、春日神社、飛火野、若草山など＝(一三校)②法隆寺(一三校)③薬師寺(一二校)④唐招提寺(二校)⑤平城京跡(一校)

その他では①比叡山(一三校)②宇治平等院(九校)③名神高速道路(六校)④大阪城(五校)となっている。

各校とも無理のないコースで精選されているが、宇治平等院を見学しないのが四校、薬師寺一校あって、これはぜひ加えてほしいとしている。また、西芳寺、西陣会館、石山寺、唐招提寺、平城京跡、びわ湖大橋など、中学校ではあまり見学しない場所を開拓しているのは意義のあることだが、生徒にとっては不適当なこともあり得るとし、さらに名神高速道路は人気もあり、古都との対照が面白いと批評している。

踏査に当たる教諭

修学旅行の実地踏査はどのように行なわれているかの調査をみると、まず踏査に行く人選については①学年主任と経験の深い教師(六校)②学年主任と若い教師(三校)③校長と経験の深い教師学年主任と都合のつく教師、校長と学年主任、経験ある中堅教師と二年の職員が各一校。

学年主任と経験の深い教師が実地踏査に行っている学校が六校で一番多く、妥当なところ。ただし③のうちの「校長が行く」は、できるだけ活動できる教師が行って足まめに細かく踏査することが望ましいと指摘している。

(つづく)

修学旅行と文化財

次ぎに注意すべきことは、見学の対象を少なくすることではないか、と思える。あそこもここもできるだけ、というのはアブハチ取らずになるおそれがある。一日の対象をせいぜい二つぐらいにして、それをゆっくり鑑賞させたい。大部分の者は古文化財などに興味はなく、ただ義務的についてゆくだけである。こういう者たちがえてして事故をおこす。退屈して悪戯気をおこし、天平時代の四天王の剣を盗んでみたりする。だからその気もちのはけ口をつくっておいてやる必要がある。ひとおり義務的に見たら、あとはゆっくり遊べるような、そういうプランを用意しておいてやる。そのためにはハイキング的なコースを選ぶとか、あるいはもしできたら、班を二つに分けたりする。現地の寺院の監理者は、修学旅行の生徒たちにいたずらをされて困る、と眉をひそめている。文化財の価値をわきまえずに言語同断だ、と息まく坊さんもいる。そのために年々、柵ができたり、扉がとざされたりして、見学や鑑賞が不自由になってくる傾向にある。このままではいまに、貴重なものからシャット・アウトされる時がくるかもしれない

写真は薬師寺の東堂。

古文化財に少しでも関心をおぼえる生徒たちには、ゆっくりとじゅうぶん鑑賞させる方法をとりたい。それには見学対象をできるだけ制限する。ごく代表的なものと、さらに比較的分かりやすいものとを選ぶ。古文化財の鑑賞だけの目的のためには例えば京都では広隆寺と善寺、奈良では法隆寺(および中宮寺)と薬師寺。あとは思いきって省略する。そしてその各所においても、鑑賞を中心的な対象に集約する。そのためには出発前に、解説や写真によって、その対象物についてじゅうぶんに予備知識をもたせ、それへの期待をかきたてておく。現地ではその対象の前にゆっくりとたたずませ、できるだけ自主的に味わせるようにする。言葉少なくヒントを与え、鑑賞を内面的にみちびく。法隆寺の百済観音では、眺める視角を少しずつ変えさせ、なだらかに起伏する曲線が、あたかも空に向ってあこがれるかのように、上方へ高く流れていることや、お顔のあどけないほどの表情が、なにか無限なものを心のうちに見つめているかのように、ひょうびょうとした雰囲気をただよわせていることに、それとなく注意をうながしてもよい。薬師寺の東塔では、西塔跡のあたりにゆっくりと腰をおろさせ、全体の各部のかもしだす心にくいほどの均衡や、屋根と裳階(もこし)と塔身との出入りが刻むリズム感を味わわせ、「凍った音楽」というフェノロサの評語を思いおこさせたりする。

また、一日のハイキングを兼ねたコースとしては、近鉄線の八木駅から橿原神宮駅までの、いわゆる飛鳥めぐりの地をおすすめしたい。耳成、香具、畝傍の大和三山にかこまれた、日本の歴史や文化の発現の舞台である。しずもる野や林や、そのあいだに点在する民家は、いまもなおその頃のままの光を浴び、その頃のままの風にふかれておだやかに感づいているかのようである。私が始めてその地を歩いた時、ふと、魂のふるさとといった感じを、肌にじかに実感したおぼえがある。ここにはあちこちに万葉の歌枕をはじめ岡寺、橘寺、川原寺もあり、板蓋宮(いたぶきのみや)跡と推定される発掘現場もあり、古代のふしぎな石造物も点々としている。あらかじめ文学や歴史の予備知識をさずけておいて、弁当持ちでゆっくりとこの風光の

見学や鑑賞は集約して

……⑯ 蛯原徳夫

＝筆者は大阪市立大学教授・文博・フランス文学＝

和歌山も加わる

近畿中学修旅委と改称　修旅実施は完璧に

【大阪発】近畿二府三県中学校修旅委員会(鎌田大阪府教育長会長)では七月十四日午前十一時から大阪市東区の全修協大阪事務所に各府県修旅運営委員長が参集、四十年度決算報告と四十一年度予算を承認決定したあと、和歌山県の加盟を満場一致で承認した。これにより名称も近畿中学校修学旅行委員会と改めることを決めた。和歌山県の加盟で同委員会の組織はさらに拡充され、同地域の修旅運営はますます円滑になるものと期待される。

なお本年度の各府県修旅運営委員長と事務局長はつぎのとおり。(敬称略)

▽大阪府＝渡辺鉾一(布施市第三中学校長)▽京都府＝木船真次(舞鶴市城南中学校長)▽兵庫県＝片山昭(宝塚第一中学校長)▽奈良県＝桝本力行(吉野郡下市中学校長)▽滋賀県＝初田寿造(大津市日吉中学校長)▽和歌山県＝貴志元夫(和歌山市伏虎中学校長)▽事務局長＝小西恵二郎(全修協大阪事務所長)

暑中お見舞い申しあげます
昭和四十一年盛夏
財団法人
全国修学旅行研究協会
理事長　山本種一

来年から新企画の修学旅行

長野　伊那北高で

【長野発】県立伊那北高校(校長＝埋橋朝賢氏)では来年からの修学旅行を改善することに決め、新しい構想を立案中である。同校では従来から二年生が三泊四日で奈良、京都、大阪方面へ出掛けており、本年も十一月下旬に行なうが、画一的な形態を打破するため①全市中学校三年生が同日数、同コースで実施しているので意義がない②旅費などの負担が増大し同校の事情から困難が伴うとの点から改善へ踏み切ったもの。この傾向は各高校へも影響を及ぼすものとみられる。

研修旅行はじまる

九州コースを皮切りに

全修協の第十回夏季研修旅行は全国から約六千名におよぶ教職員らが参加、七月二十六日出発の九州行き第一陣を皮切りに開始された。ことしは沖縄、香港・台北をふくむ十一コース、三十三団で編成されており、参加者は希望のコースでそれぞれ〝実験学習〟を行なうわけである。

寺田てるさん(元全修協事務局長寺田鉄氏夫人)七月一日死去。葬儀は七月二日午前十時から静岡市大岩宮下町五七の自宅で行なわれた。

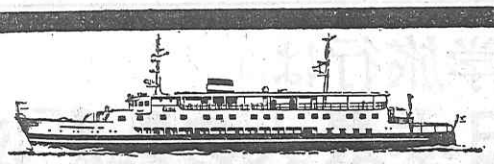
全修協だより

▼村山助雄氏(全修協常務理事)今秋、北九州市で開かれる中国見本市答礼のため、九州地区訪中経済友好地方議員代表として七月十六日午後一時三十分羽田発のAIE機で中国へ。帰国は同月末。

★奈良★大和の国なか
★京都の庭園★富士・箱根★日光★大和の塔
★京都

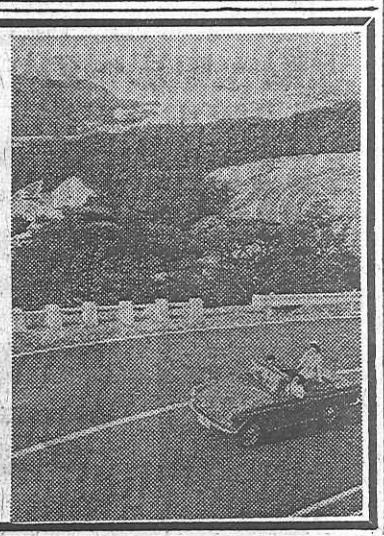
修学旅行映画シリーズを学習効果向上の事前指導にご利用ください。
お申込みは、ツーリストの修学旅行センターかお近くの営業所へ。ご希望があれば映写機の貸出し、技師出向もいたします。

全国170のサービスネット
近畿日本ツーリスト



瀬戸内海を走る海の社会科教室
修学旅行専用船
わかば丸
ふたば丸
修学旅行専用船(1000トン型・全船冷暖房完備)2隻は、ツートンカラーのスマートな外観で、等級区別のないモノクラス船室、学習室・休養室・清潔な食堂などがあり、又学習室には海のライブラリーが完備、「動く海の教室」としてご好評を頂いております。
●修学旅行専用船のお問合せは……
関西汽船
大阪(441)代表9161

真珠の海の展望コース
伊勢志摩スカイライン
伊勢内宮前―朝熊山―鳥羽　16.3キロ
朝熊山レストハウス
すばらしい景観を眺めながらお食事が楽しめます。
★近鉄宇治山田駅から三重交通バス運転。
★お問合せ　近畿日本ツーリスト、日本交通公社ほか。
三重県観光開発株式会社
(本社)津市丸の内・三重会館　津⑧7231
(レストハウス)伊勢市朝熊町　伊勢⑧8439



沖縄・台北・ソウル かけある記

（2）

高砂族は観光資源に

岸本昌弘

たまたま二十日は蔣介石総統の第四回就任記念日に当たるとかで台北の街はいたるところに華やかなアーチや蔣総統の肖像画が掲げられてにぎわっていた。沖縄で味わったような緊迫感はなく、街そのものが活気にあふれた感じだった。あちこちにみられる看板には「反共」「大陸反攻」「建国」「増産」など国民の反共思想を喚起し、勤労意欲を鼓舞するためのスローガンめいたものが大書してある。それが南国らしい椰子の並木、中国風の赤、黄、緑を基調とした飾り付け、れんが造りの建物などと奇妙に調和している。

漢字だらけの看板

東京や大阪にみられるような高層ビルは少ないし、商店街の店構えやショウウインドウにもデラックスな感じはないが、生活の息吹きはどこからともなく感じられるし、また、なんとく豊かな落ち着きをも備えた街であるといった印象を強くした。いわゆる横文字はほとんど目に付かないが、漢字だらけの看板には親しみが持てる。その看板もほとんどが判読できるなかには「○○服務中心」と記された看板があったので、現地の友人に意味をたずねると「○○サービス・センター」という答が即座にハネ返ってきた。

南国的な明るさ

ことばにはさほど不自由しない少なくとも四十歳以上の年輩の人なら日本語がじゅうぶん通じるし若い人たちとも筆談で用が足りる友人の息子である高校生と話し合ってみた。彼は日本語を知らず、英語も日本の高校生並みだったが英語と漢字による筆談とで、かなり複雑な会話ができることを確認した。筆者の漢文は二十年前に中学で習った程度のものであるが、適当に漢字を並べていけば、小学生でもなんとか読み取ってくれてちゃんとこちらが判読できる漢字で答えてくれるから楽しい。

台北でも二泊したが、実際に行動できたのは中一日だけだった。午前中は台北郊外の高砂族の部落を訪れた。驚いたことに十四、五の娘たちが流暢な日本語をしゃべる。土着の民族でありながら、すでに上昇行く運命にあり、いまや観光資源の一つになっているという意味では北海道のアイヌに似ているが、その生活にも、唄にもアイヌのような哀調はなく、南国的な明るさがあるのが特徴。午後は博物館をのぞいたり、孔子廟などを北市内の名所をひと通り観たあと、もっぱら街を歩いてみることに時間を費した。夜は友人たちの家族ぐるみの招宴である。食べ物は文句なしにうまい。酒も老酒（ラオチュウ）の高級酒に当たる「紹興酒」というのがいい。

経済ささえる農業

街を走っているタクシーは全部といっていいほどブルー・バードが多い。日産自動車と提携している現地のメーカーがボディーだけを現地で生産し、組み立てているものだ。値段は一台当たり台湾円で十五、六万円というから、日本円に換算すると百三、四十万円になる。日本の二倍はするという勘定である。その他バス・トラックのたぐいも日本のメーカーのものが多かった。しかし工業生産力が低いのでトラックはそれほど多くない。

台湾の経済をささえているものは、やはり農業である。肥沃な土地と恵まれた気候が幸いして農業の生産性はきわめて高いようである。台北の街の豊かさも、こうした農業生産性の高さに根ぢがあるのかも知れない。もちろん工業も発展途上にあるが、国民総生産が伸びながら物価が上がらないという落ち着いた経済を保っているのも特徴である。日本へ帰ってこういった点を先輩に話したら、その先輩は「原始的な意味での豊かさ」と形容した。街の活気も、たしかに原始的な豊かさであった。

日本の流行歌も

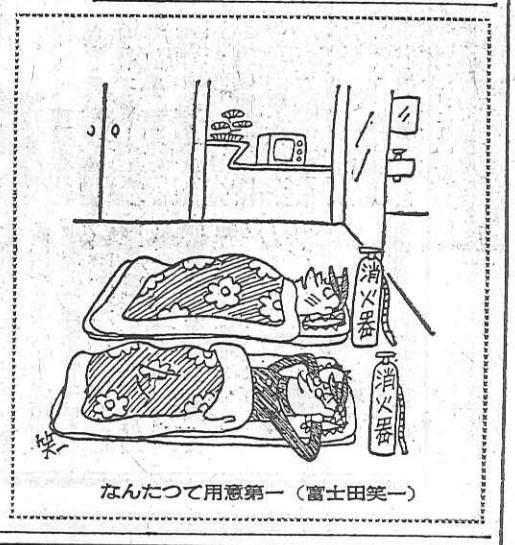
対日感情はすこぶるいい。蔣政権が戦後、早い機会に日本との友好関係を結んだことから日本との間には人の往来も物の交流も盛んなので、日本にたいする関心も強いのだろう。夜の街では日本で最近流行している歌がそのまま歌われている。日本の流行歌のレコードの海賊版が横行しているとのことである。蔣介石の存在は絶対である。ただ蔣介石が大陸から追われて台湾に逃げ込んできたという受け取り方をする向きも多く「われ、が総統」でありながら必らずしも親愛の情を持って接しているわけではないようだ。そういえば元台湾神宮跡に蔣夫人の宋美齢が中国風の超デラックス・ホテルを建設、経営していることにたいしても、割り切れない感じをいだいている人がいる。

紅灯の街、台北

台湾の夜、とくに台北の紅灯の巷は男性にとって世界最良の場所といわれるが、見方によっては酒池肉林の巷でもある。詳説は避けるが、一例を紹介すると、筆者の泊まっていたホテルは街の中心部にある台北でも最高級の洋風ホテル。ほとんどの点で日本のそれと変わりないが、個人客室のベッドはダブルである。聞いてみると、シングルベッドのっ屋はないそうだ。首をかしげていたらボーイがすました顔付きのまま英語で「お世話しましょうか」と気をそそってきた。…万事この調子である。

台湾美人はわずかなチップよりも日本のナイロン製シームレス・ストッキングを喜ぶから参考までに台北の空港をあとに三たびCATジェット機を利用してソウルに向かったのが二十二日の夕方。時差の関係で再び時計の針を一時間進めなければならない。東支那海を一路北上、朝鮮半島の西岸沿いに進んでソウル郊外の金浦（キンポ）空港に着いたときは、すでに日が暮れ、午後九時近かった。本来ならば夕方着くところだったが、飛行機の出発が遅れたためだ。それに一時間の時差が奇妙な作用を起こし、正味二時間の航程が数字の上では三時間かかったとも心理的に影響した。（つづく）

＝日本経済新聞記者＝



なんたつて用意第一（富士田笑一）

異国趣味の長崎

明治百年と異人館

入江市郎

長崎の観光価値を一言にして言えば、異国情緒という表現で代表される。それは三百八十余年の昔から、日本で唯一の貿易港として物心両面の海外文化を吸収してきた長崎の歴史的位置の賜である。

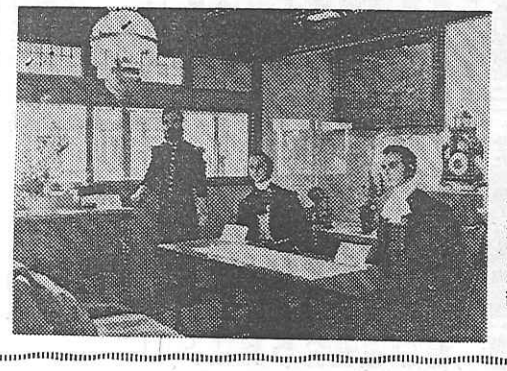
すなわち、長崎の歴史的観光資源は京都、奈良に見られる日本古来の静的な文化遺産とは全く異質の、外来文化の渾然たる多様性の中にたくましく躍動する近世日本の動的な姿である。特に明治初期から逐次建造された木造洋館群によって、さらに具体的に観光客の目を楽しませており、それは東山手から発展してこの南山手一帯に現存しているが、その数は百二十余軒を数え、明治百年を迎えようとしている今日、雑然たる中に歳月の詩情に抱擁された豊潤な香りによって、訪れる他国人を魅了するに十分なたたずまいとなっているのである。

われわれはこの南山手の玄関口に「異人館」を建設し、長崎の歴史的な資源を保存し、かつ物語り、一人でも多くの人々に日本の近世文化の流れを知ってもらいたいと願って、さる四月一日に開館したのである。この「異人館」の歴史的位置は、寛政のころから居留地十一番館の建物の跡であり、現在も南山手町十一番地となっているが、たまたま当館の建設工事中、敷地内から居留地境と十一番の石標が発見され、歴史的に証拠づけられたのである。

「異人館」を建設するに当りわれわれは長崎図書館の永島先生と博物館の越中、島内両先生を専門委員に委嘱し、館内をそれぞれオランダ部屋、カピタン部屋、キリシタン部屋、かくれキリシタン部屋など、歴史的テーマによって分類し、史実に基づき資料を展示しているが、とくに駐日オランダ大使グーリック博士のご協力によって館内に「日蘭会館アムステルダム・ハウス」の建設が決定し、資料はオランダ本国から送付、展示される運びとなったことは一私企業の域を脱し、長崎―アムステルダムの姉妹都市縁組みを促進し、ひいては日蘭親善の強いきずなとなることを確信する次第で、この完成の一日も早からんことを祈っているわけである。

たまたま、当館をご視察された全修協理事長の山本種一先生のご懇篤な助言と、広い視野に立たれたご忠告は、われわれ古い文化を愛しそれをより長くより美しく保存しようと微力を捧げている者にとってはこの上ない深いご理解であり、また強力なご支援にほかならず、われわれは先生のご忠告に力を得て、さらに資料の充実を図るとともに、新しい観光施設としてまた、修学旅行の社会科教材としてのサービス向上に努力邁進していく決意である。

（株式会社長崎国際観光センター「異人館」常務取締役）


写真は「異人館」の一部。

層雲峡のお泊りは

政府登録国際観光旅館
近畿日本ツーリスト協定旅館

ホテル　大雪

TEL　層雲峡　20・21・29

定山渓温泉

快適なご旅行は
ホテル鹿の湯で

★風味豊かなどさんこ料理と朝食バイキング
★楽しい25米温水プール

政府登録国際観光旅館
近畿日本ツーリスト協定旅館

ホテル鹿の湯

TEL　定山渓　代表　2311番

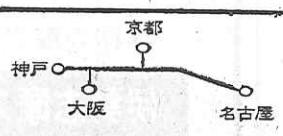
洞爺湖畔のお泊りは

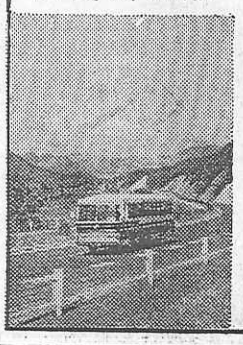
国際観光旅館連盟
近畿日本ツーリスト協定旅館

洞爺観光ホテル

TEL　洞爺湖111

近畿・中京への修学旅行は
時速100キロ
全座席確保の名神ハイウェイ・
運賃最低廉　日本高速バスで





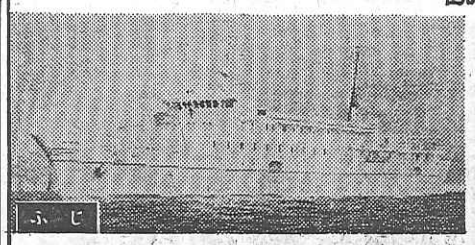
のりば

新大阪ー名古屋	2時間50分	☆大阪	新大阪駅正面
京都ー名古屋	2時間26分	☆京都	京都駅西口
神戸ー名古屋	3時間31分	☆神戸	神戸駅南口
		☆名古屋	名古屋駅前150米

お問合せ・お申込予約は
当社又は全国主要斡旋業者へ

大阪市天王寺区上本町6の1
日本高速自動車株式会社
Tel. 大阪771－6637～8　名古屋521～8371～2

修学旅行は
日本最大の豪華観光船「ふじ」で



団体専用船「ふじ」が昭和40年8月に就航しました。科学の粋を集めた画期的な最新鋭船です。生徒達の心にいつまでも残るユニークな修学旅行をお約束します。
みなさまのスケジュールにあわせて全国各地のどの港へもご案内できます。

完全冷暖房、明るい船室、豪華なサロン、ローンジ、広いプロムナードデッキ、娯楽室、浴室

トン数……3,000トン型
速　力……20.04ノット
定　員……1,800名

お問い合わせは
東京事務所
東京都中央区晴海町5の7
TEL　(531) 9211(代表)

大島運輸株式会社